

平成28年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		空き家活用モデル実施					所管	都市づくり部 住宅課		
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	93	計画事業名	空き家ストックの適正管理及び有効活用の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進							[事業開始] 平成27年度	
		[小 柱] (3)住生活の安定の確保及び質の向上							[終了予定] - 年度	
		[施策] ②良質な住宅・良好な住環境の整備促進								
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	東京都台東区民間住宅活用モデル事業(空き家活用モデル事業)補助金交付要綱						
	事業対象	区内に空き家等を所有する者								
	事業目的	使用可能な空き家の利活用及び子育てに適した住環境の創出により定住促進を図る。								
	事業内容	空き家ストックの活用及び子育てしやすい住環境を整備するため、既存の戸建て住宅の空き家を子育て世帯向けの賃貸住宅として管理することを条件に、空き家の改修工事費用の一部を補助する。								
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	なし									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	助成件数	件	5	-	-	0			
		成果指標								
	決算額 (単位:千円)					-	-	0		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	4,010		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	0		
		総経費				-	-	4,010		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	0		
一般財源(区負担額)				-	-	4,010				
前回評価から改善した事項	なし									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	3	空き家を子育て世帯向けの住宅として有効活用を図っていくため、対象となる改修工事に補助を行う。							
	効率性	3	子育て世帯向けの賃貸住宅の修繕費を補助することで、コストに見合った効果が期待できる。							
	手段の適切性	3	子育て世帯を支援する手段として、空き家を活用することは適切である。							
	目的達成度	1	発足して一年目で、空き家に特定した補助制度のため、認知度が未だ低く事業が進捗していない。今後は、広報やチラシ等による周知を積極的に展開し、実績の向上を図る。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大改善維持縮小廃止・終了		
事業内容は適切であるが実績に結び付いていない。今後は広報等を活用し、PR活動の改善による効果や問合せ状況等を見極めながら、事業を実施していく。							改善			